



資料1-1

(H30.4.26)
規制改革推進会議
第28回投資等WG資料

規制改革推進会議 投資等WG

ヒアリングご説明資料

平成30年4月26日
日本放送協会

ご説明項目

- 1 . 公共放送の役割
- 2 . 放送と通信の融合時代の取り組み
- 3 . コンテンツの海外展開
- 4 . 外部プロダクションの活用と権利

1 . 公共放送の役割

公共放送の役割

「NHK経営計画（2018-2020年度）」より

世界の人々のさまざまな夢や思いが、アスリートたちの舞台に結実する「東京2020」。
またとない機会に照準を定め、日本社会では意欲的な挑戦や大きな変革がさまざま生まれています。
NHKも、2020年に最高水準の放送・サービスを届けることを「NHKビジョン2015 2020」で掲げ、2018年には、超高精細の映像と臨場感あふれる音響で新しい体験を提供するスーパーハイビジョンの本放送を開始します。

インターネットの浸透により、情報の入手やコミュニケーションのあり方は根本的な変貌を遂げ、「いつでも、気軽に、だれとでも」さまざまな情報を取得・交換できるようになりました。

一方で、「NHKビジョン2015 2020」で指摘した以上に、不確かな情報の拡散や、お互いの“つながり”の希薄化が深刻に受け止められ、「意見の分極化」や「社会の分断」を懸念する声もあります。

社会のありようが急速に変化する中でも、NHKは引き続き、広く受信料によって支えられる公共放送の基本姿勢を堅持します。憲法が定める表現の自由の保障の下で、国民の知る権利を充足し、放送法を順守しながら自主自律を貫いて、健全な民主主義の発達と文化の向上に寄与していきたいと考えます。

そのために、放送を太い幹としつつ、インターネットも活用し、正確で迅速なニュースや質の高い多彩な番組をできるだけ多くの人にお届けすることで、以下のような「公共的価値」の実現を追求していきます。

N H K が追求する「公共的価値」

「N H K 経営計画（2018-2020年度）」より

1	正確、公平・公正な情報で貢献	蓄積してきた取材力・制作力を生かし、インターネットも活用して、正確な情報を公平・公正に伝え、人々の判断のよりどころとなり、健全な民主主義の発達に寄与する
2	安全で安心な暮らしに貢献	「命と暮らしを守る報道」に全力を挙げ、テレビ・ラジオ・インターネットで必要な情報を届けることで、より多くの人の「安全・安心」に貢献する
3	質の高い文化の創造	「第一級のコンテンツ」制作や最先端技術を駆使した放送・サービスを通じ、文化の向上に寄与し、技術の進歩発達の先導的役割を果たす
4	地域社会への貢献	さまざまな文化や暮らしが息づく地域の豊かさ、固有の課題などを広く共有し、放送・サービスを通じて、多様な地域社会に貢献する
5	日本と国際社会の理解促進	国際社会との相互理解を進めるため、日本についての正確で多様な情報を世界各国に向けて積極的に発信する
6	教育と福祉への貢献	幅広い年齢層の教育・学習・福祉に関するコンテンツや、高齢者・障害者なども利用しやすい放送・サービスの充実を通して、暮らしやすい社会の実現に貢献する

N H K は、これまでも「公共的価値」の実現を追求してきました。これからも、さらなる実現度の向上をめざし、放送と通信の融合時代に、「いつでも、どこでも」視聴者のみなさまの期待にしっかりと応えられる「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていきます。

正確、公平・公正な情報で貢献

- ◆ 蓄積してきた取材力・制作力を生かし、インターネットも活用して、正確な情報を公平・公正に伝え、人々の判断のよりどころとなり、健全な民主主義の発達に寄与する



正確・迅速な選挙の開票速報
(世帯視聴率17.1% 関東20時台)

昨年10月衆院選 ビデオリサーチ調べ



調査報道への取り組み
防衛省日報問題(新聞協会賞)



インターネットの取材活用

SNS上での情報をキャッチし、NHKで確認後に報じるなど、速報取材の手がかりの一つとして活用。

(SoLT……Social Listening Team)

安全で安心な暮らしに貢献

◆ 「命と暮らしを守る報道」に全力を挙げ、テレビ・ラジオ・インターネットで必要な情報を届けることで、より多くの人々の「安全・安心」に貢献する

1 最初動段階	2 初動段階	3 初期段階
減災報道に全力 発災から災害等の全体像が把握できるまで	災害報道を展開 全体像の把握後、全国放送のライフライン放送開始まで	災害報道 + ライフライン放送 ローカルライフライン放送開始まで
国民の生命財産が最も危険にさらされている時期	国民の生命財産が危険にさらされる時期 大都市圏では、帰宅困難者等に向けた情報提供が必要に	国民の生命財産への危機が続く一方、被災者・帰宅困難者等の地域密着情報へのニーズが高まる時期

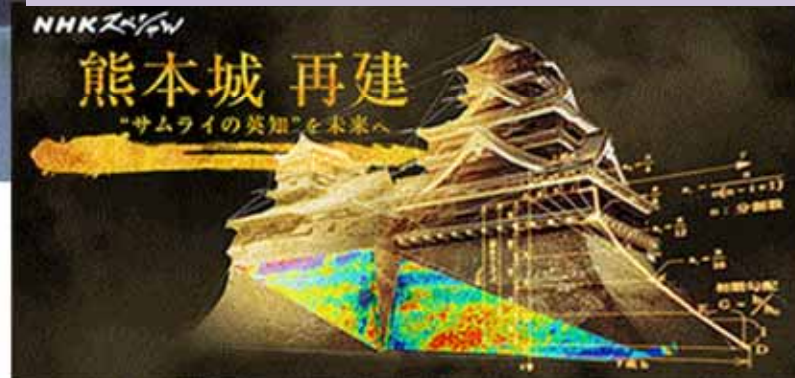
◆ 災害対策基本法による指定公共機関として、放送が持つ同報性・即時性を生かし、各放送波を最大限に活用して必要な情報をより多くの視聴者に届ける

総合テレビ	教育テレビ	BS1	BSプレミアム
災害報道・減災報道の基幹波	被災者・災害弱者支援波	総合との同時放送を基本	教育との同時放送を基本
ラジオ第1	ラジオ第2	FM	国際放送
音声波の災害報道の基幹波	在日・訪日外国人向けの外国語放送	災害報道ときめ細かい情報 (帰宅困難者向け情報) (ライフライン放送)	NHKワールドTV、プレミアム、ラジオ日本、インターネットで、全世界に日本の状況を発信

インターネットはNHKオンラインでのニュース、災害・防災情報、ライフライン情報、J-anpi検索 等

質の高い文化の創造

「第一級のコンテンツ」制作や最先端技術を駆使した放送・サービスを通じ、文化の向上に寄与し、技術の進歩発達の先導的役割を果たす



地域社会への貢献

さまざまな文化や暮らしが息づく地域の豊かさ、固有の課題などを広く共有し、放送・サービスを通じて、多様な地域社会に貢献する

地域の課題を考える



札幌放送局では、JR北海道の路線存続問題について、ニュースや特集番組で継続的に取材・放送。



新潟放送局では、地域の住民自身がテレビを使って地域を元気にする取り組みに挑む番組を放送。

ネットとも連動し考える



神奈川県相模原市にある知的障害者施設で起きた殺傷事件。失われた命の重さを伝え、その痛みを少しでも想像し、みんなで受け止めていくことで、再び悲劇を生まない社会を作っていこうと、WEBとも連動しニュース・番組で関連企画を放送。

日本と国際社会の理解促進

国際社会との相互理解を進めるため、日本についての正確で多様な情報を世界各国に向けて積極的に発信する



インターネットでのストリーミング



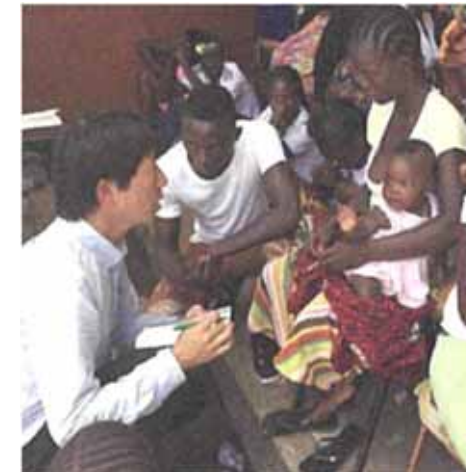
日本発の情報を世界に向けて発信



ラジオ国際放送



夜の大型ニュース番組



海外特派員による取材

教育と福祉への貢献

幅広い年齢層の教育・学習・福祉に関するコンテンツや、高齢者・障害者なども利用しやすい放送・サービスの充実を通して、暮らしやすい社会の実現に貢献する

「教育への貢献」



テレビの表現力を生かしたさまざまな番組で、学びをサポート



昔話法廷



大科学実験



カガクノミカタ

「福祉への貢献」

平成29年5月に開始した「発達障害プロジェクト」は、「あさいち」「ハートネットTV」「ETV特集」など、総合テレビや教育テレビの番組が連携し、“見えない障害”について、世間の理解を広めた。



「キャンペーン #8月31日の夜に。」

平成29年8月31日放送

9月1日は若者の自殺が1年で最も多い。夏休みの最後、8月31日の夜に、「死にたい」「学校に行きたくない」と悩む十代の声に、4時間近くひたすら耳を傾けた。

「ハートネットTV 生きるためのテレビ」などの生放送と同時に、テレビを見るのがつらい人に向けライブストリーミングを実施、SNSの声も受け止めた。放送とネットの、それぞれの特性を生かした連携により、ありのままの思いを安心して発信し、それに共感が集まる「場」を生み出すことができた。「毎日叫んで死にたかった中学生の私が、少し救われた日。これから少し、生きていける気がする。」

「6つの公共的価値」の実現を追求



2 . 放送と通信の融合時代の取り組み

緊急時の放送同時提供・災害映像のインターネット配信

国民の生命・財産に影響を及ぼす大災害や事件・事故、国民的関心の高いニュースなどを放送と同時にインターネットでも配信します。また、台風による豪雨・暴風の状況や火山活動のロボットカメラの映像など、刻々と変わる災害の最新状況などもお届けします。

緊急時の放送同時提供

緊急報道等、総合テレビの緊急ニュースを、「NHK NEWS WEB」や「ニュース・防災アプリ」で放送と同時提供

災害映像のインターネット配信

災害時のロボットカメラの映像を、「NHK NEWS WEB」や「ニュース・防災アプリ」で配信

いつでも安心ラジオをネットでも「らじる らじる」

ラジオ第1、第2、FM放送を、「らじる らじる」WEBサイトやアプリで同時配信（東京・大阪・名古屋・広島・福岡・仙台・札幌・松山の8拠点、R2は東京のみ）

2017年10月より、「radiko」での配信実験も実施中

また大規模災害時には災害発生地域のローカル放送も配信



2020年東京五輪・パラリンピックを見据えたサービス展開

リアルタイムでの情報提供のニーズが高いスポーツでは、選手紹介や競技解説に加え、競技結果の速報など、ユーザーのニーズに合った情報をリアルタイムにお伝えします。また、外部動画サイトやソーシャルメディアも通じて、独自に編集した競技映像やネットならではの特性を生かしたノーカット競技映像も展開します。

- リオデジャネイロ、ピョンチャン五輪・パラリンピックでの取り組み
- 競技の放送予定、競技解説や選手紹介、競技結果速報などを、スポーツWEBサイトやアプリで配信
- 競技とならびスポーツや選手等につわる関連情報や話題、ショート動画などを、スポーツ・ストーリーサイトとして展開

放送・通信連携サービス「ハイブリッドキャスト」を通じた高精細度映像配信

4K競技映像を、迫力あるテレビ大画面のハイブリッドキャストサービスでお楽しみいただける、ネット配信実験を実施

最高水準のサービスを目指す新技術トライアル

競技データからアナウンス原稿を自動的に生成し、ロボットが無人で読み上げる独自実況サービス「ロボット実況」や字幕サービスを実施、配信の運用効率化や、多言語展開等を目指す

(データ放送 サービス実施イメージ)



(ハイブリッドキャスト サービス実施イメージ)



「人にやさしい放送・サービス」を見据えた展開

ハンディキャップがある方や、あらゆる年齢層や立場の視聴者に、様々な番組をわかりやすく伝えるための補完サービスを行うとともに、教育の機会や福祉を享受する情報を提供し、暮らしやすい社会づくりに貢献します。

気象情報の手話CG

天気予報等の気象データから手話CGを自動合成、耳の不自由な方向けに、手話による気象解説をトライアル中

気象情報 手話 CG



バリバラ ~ 障害者情報バラエティー ~

生きづらさを抱えるすべてのマイノリティーの人たちにとってのバリアフリーを目指す番組。動画配信やメッセージ投稿など、視聴者との双方向のつながりを目指す



8月31日の夜に。

10代のみなさんが「学校に行きたくない」「生きるのがつらい」といった気持ちを吐き出し、共有できる場をWEBサイトとして提供。メッセージ投稿や相談窓口、SNSによる「よりそいチャット」などを展開



テレビ放送のインターネット常時同時配信について（1/2）

- NHKが実施するインターネット活用業務は、放送を補完し、その効用・効果を高めるものであり、国民共有の財産である放送番組等を広く国民に還元することが目的である。「常時同時配信」もその一環であり、放送で流れている番組を、そのままインターネットでも見ることができるようにする、いわば「視聴機会の拡大」であると考えている。
- 海外では、多くの公共放送が、常時同時配信を実施し、視聴者・国民の利便性を高めている。
NHKとしても、視聴者・国民がインターネットを通じて、「いつでも、どこでも」必要な情報・コンテンツを得ることができるよう「視聴機会の拡大」を図り、災害時・緊急時などにも放送と同様に同時配信を視聴していただくことにより、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たしてまいりたい。

テレビ放送のインターネット常時同時配信について（2/2）


〈サービス開始時の基本的な考え方〉

- 常時同時配信は放送の補完と位置付ける。
- 受信契約世帯の構成員は、追加負担なく利用できるようにする。受信契約が確認できない場合は、メッセージ付き画面などの視聴にとどめる。なお、災害時など広く情報を提供する必要がある際には、利用可能とする。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを常時同時配信により伝えることができるよう、2019年度にサービスを開始する。
- 開始時点においては、地上波（「総合テレビ」および「教育テレビ」）を配信する。
- 地域放送番組の配信については、コストや運用体制の面から、段階的に拡充し、その際、地域制限を行う。
- 見逃し配信については、NODとの関係を整理した上で、試験的提供の結果や他局のサービスなど市場への影響等も踏まえて、一定期間の視聴をめざす。
- 常時同時配信にかかる費用は総額の上限を定めて運用する。

試験的提供について (1/2)

- 常時同時配信の課題解決に向けて、同時配信の実験「試験的提供」を実施している。

〈同時配信の実験「試験的提供B」の結果〉

実施期間	平成29年10月30日(月)～11月26日(日) 4週間
提供内容	総合・教育 午前5時から翌午前1時までの1日20時間以内 同時配信、見逃し配信(同時配信後から1週間視聴可能)、早戻し配信 初めて地域放送番組(大阪局・静岡局)配信の検証を実施
<p>一般向け調査 利用状況</p> <p>(全国の 16歳-69歳 男女5,400人)</p>	<p>期間全体の利用率の推移(サービス全体)</p>  <p>期間中、一度でも利用した人(サービス全体) 59.5%</p> <p>最後の1週間の 利用率の平均は16.1%</p>

試験的提供について (2/2)

〈同時配信の実験「試験的提供 A」の結果〉

実施期間	平成30年2月9日(金)～2月25日(日)
提供内容	総合・教育で放送した「ピョンチャンオリンピック」の放送番組を、1日あたり16時間以内の範囲で放送と同時に配信した。また、見逃し配信・早戻し配信も行った。
配信時間	235時間47分 オリンピック以外の番組や、契約の関係で配信不可となった分計40時間4分間を含む。
視聴者数が多かった配信	<p>2月17日(土) 60.5万 「フィギュアスケート男子シングルフリー」</p> <p>2月21日(水) 23.9万 「フィギュアスケート女子シングルショートプログラム」</p> <p>2月24日(土) 21.4万 「カ - リング女子準決勝 日本対韓国」</p> <p>(参考)リオデジャネイロオリンピックで視聴者数が最も多かった配信は、 「陸上(男子400mリレー決勝ほか)」 14.8万</p>

3 . コンテンツの海外展開

NHKコンテンツの海外展開

NHKグループで、コンテンツの国際共同制作や海外展開を推進

(NHK経営計画2018-2020年度・重点方針1「“公共メディア”への進化」)

質の高い大型コンテンツの国際共同制作、国際版の制作や販売、優れた放送技術の普及など、さまざまな形での国際展開を、NHKと関連団体が連携して積極的に推進

国際マーケットを意識した制作手法の開発など、国際展開を強化するための体制整備を推進

(NHK経営計画2015-2017年度・重点方針2「日本を世界に、積極的に発信」)

国際共同制作

- ・海外の放送局等と人や機材、制作費を分担し、協力して番組を制作する手法
- ・巨額の制作費がかかる超大型番組、世界的に関心の高い主題のドキュメンタリーをよりグローバルなスタイルで制作
- ・利点
 - NHKの番組に海外の放送局等が参加・・・NHK番組が世界で広く放送
 - 海外の放送局等が主体となって制作する国際的な大型番組への参加・・・NHK自らが制作する場合に比べ、少ない制作費で放送が実現

NHKグループによる海外展開

- ・関連団体による番組の放送権販売
- ・アジアを中心に現地放送局をプラットフォームとして、継続的に番組を放送できるような新たなスキームを構築

国際共同制作

NHKスペシャル「人体」

- 平成29年度 総合テレビで放送
- NHKが制作主体となり、イギリスの公共放送、アメリカのドキュメンタリー専門配信会社と共同制作
- イギリスの公共放送は「人体」関連教育シリーズにも参加決定



・この他、「ディープオーシャン」、「大ピラミッド」など大型の科学、自然、歴史番組を海外の放送局やプロダクションと共同制作

8K番組「ルーブル 永遠の美」

- フランス・ルーブル美術館と8Kスーパーハイビジョンで共同制作
- 「ミロのヴィーナス」など9点を世界で初めて8Kカメラで撮影
- 国内では平成28年11月から8K試験放送で放送
- フランス・カンヌで毎年開かれている国際映像コンテンツの見本市でも上映、高く評価



国際共同制作

Japan from Above ～ 空から見た日本～



- 平成30年度、国内、国際放送で放送予定の4Kドキュメンタリーシリーズ
- フランスのプロダクションとの合同チームにNHKの地域放送局も参加して3年をかけて共同制作
- 高品質な4Kの空撮、ドローンショット、自然とともに暮らす人々の生き様が凝縮された、世界に届く「日本像」のシリーズとして展開予定
- 共同制作に参加したドイツ、フランスの放送局に加え、カナダ、スロバキア、チェコ、スペインが放送を決定
- 国際的な番組見本市（フランス・カンヌ）でワールドプレミア上映を実施、多数のアジア、ヨーロッパの放送局・プロダクションが購入の意向
- 今年7月からパリで開催される日仏共同の文化芸術イベント「ジャポニスム2018」のプロジェクトとして、現地放送局が実施する「日本関連編成」で放送予定

海外向けの番組販売例

NHKスペシャル「終わらない人 宮崎駿」の放送権等の販売

- ・平成28年11月、日本国内で放送
- ・海外向けバージョン
(国内向けよりもナレーションを減らし宮崎さんのインタビューを増やす)
- ・国際的な見本市で完成試写会を実施
続く1年で、韓国、イタリア、台湾、香港、フィンランド、オーストラリア、アメリカの放送局等と成約



NHKグループによるアジア展開の事例



ミャンマー (2013年～)

NHKの関連団体が現地民放局 (MNTV) とドラマ・映画を制作。
 ミャンマーとの合弁で制作会社を設立 (2018年4月)。NHK関連団体が官民ファンドであるクールジャパン機構やJICT (海外通信・放送・郵便事業支援機構) とともに出資。今後、MNTVをプラットフォームとして、NHKコンテンツ等の放送やフォーマット展開を推進。オールジャパンで事業運営を支援



ベトナム (2014年～)

NHKの関連団体による国営VTVの教育チャンネル「VTV7」の支援プロジェクト。
 幼児番組「いないいないばあっ！」のローカライズ、VTV7版の制作支援とPRイベント、商品販売を展開

海外での展開を想定した番組企画提案会議の実施

NHKグループの公開提案会議 「NHKピッチ」

(2013年度からこれまでに5回実施)
2018年度は11月に実施予定



- NHK本体・関連団体から国際展開を視野に入れた企画を募集、公開提案会議を実施
- 海外の放送局などから招いたアドバイザーによる提案プレゼンテーショントレーニング、企画内容の協議、提案後のフォローアップ
- 毎回、6企画を目標に企画を選抜して番組制作へ
- ジャンルはドキュメンタリーに加え、教育エンターテインメントシリーズ、フォーマット開発、SHV企画などにも拡大
- 平成29年度実績は55企画（地域放送局からの提案含む）の応募、2回の事前審査、12企画が公開提案会議に

NHKの国際放送

海外外国人向け



<テレビ> (英語)

衛星放送やケーブルテレビ等で
ニュース・情報番組を放送



<ラジオ> (17言語)

日本語 + 17の言語で音声サービス
短波に加え、海外放送局の中波・FM波等を利用



<インターネット>

ニュース・番組の動画配信・
音声やテキストの発信



在外邦人向け

NHKワールド・プレミアム
<テレビ> (日本語)

海外の日本人向け日本語チャンネル
ニュース、ドラマ、音楽、子ども番組等を配信



NHKワールド・ラジオ日本
(日本語)

在外邦人に最新のニュース・番組、安全情報を提供



「NHKワールド JAPAN」(テレビ)の多様なコンテンツ

日本各地の魅力を発信



「Journeys in Japan」

東京や京都だけではない
日本各地の魅力



「CYCLE AROUND JAPAN」

自転車で日本各地を巡る

日本ならではの産業・技術情報発信



「Biz Stream」

日本ビジネスの最前線を紹介



「Japan's Top Inventions」

世界中の人々に愛用される
“日本発”のものづくりの裏側を伝える

日本の様々な文化を発信



「GRAND SUMO Highlights」

大相撲の英語ダイジェスト番組



「Dining with the Chef」

日本の食文化を紹介

2020年に向けた発信



「TOKYO EYE 2020」

2020年に向けて大きく変ぼうする東京の姿



「Kids Meet the World」

全国の小中学校が、2020年に向けてそれぞれ海外の国を応援する運動を取り上げる

4 . 外部プロダクションの活用と権利

番組の外部制作委託についての基本的な考え方

NHKが番組制作会社に制作業務を委託する目的

- ・外部の制作ノウハウを柔軟に取り入れる
- ・番組制作会社との競争を通じて、公共放送にふさわしい質の高い多様なコンテンツを確保する

番組制作会社は、公共放送を支える上での欠かせない**パートナー**
 番組制作会社と力を合わせて、日本全体の**コンテンツ制作力の向上にも貢献**する

【業務委託のタイプ】

委託区分	概要	著作権の帰属	権料配分
演出	制作業務の一部を委託するもの	NHK	なし
外部一部	制作業務の一部を委託するもののうち、制作会社の業務内容に権料配分するに値する特別の寄与が見込まれるもの	NHK	あり
外部制作	番組制作会社とNHK(またはNHKの関連団体)の共同の制作統括の下で制作される番組で、その制作業務を委託するもの	NHKおよび 番組制作会社 (共有)	あり

番組制作委託の取引においては、公正さを欠くことのないよう、番組制作会社との取引基準を策定し、ATPなど団体との対話の場を設けて、良好で公正な関係の維持・発展に努めている

番組の直接委託の取り組み

多彩な番組の企画を外部にも求め、外部ならではの創造性を視聴者層の拡大につなげることをめざして、NHK本体が直接、番組制作会社の企画を採択し、番組制作を委託する「直接委託」を行っている。（平成18年7月から）

企画の募集は「企画競争」として公募している。公平性・透明性を保つため、募集や審査方法などはNHKホームページで公開している。

【これまでに採択した企画】

(ドラマ)

プレミアムドラマ「男の操」「PTAグランパ」

ドラマ10「ブランケット・キャッツ」「水族館ガール」等

(ドキュメンタリー)

BS1ドキュメンタリーシリーズ 等

(教養番組)

総合診療医ドクターG、タイムスクープハンター



【企画募集HP】

<http://www.nhk.or.jp/kikakubosyuu/>

企画の公募や審査基準の透明性などのルールを整え、番組制作会社への「前払い金」制度の適用を徹底するなど、制作環境の整備にも努めている

外部制作比率の拡大について

日本のコンテンツ産業育成のプラットフォームの役割を担うBSプレミアムでは、企画競争および外部制作者の制作参加による番組について、放送時間に占める割合で半分以上となることを目指している

【基幹放送普及計画 目標との比較】

目標値	28年度実績	29年度実績 (上半期)
BSプレミアム 企画競争および外部制作者の制作参加による番組について 50%以上を目指す	41.7	41.9
BSプレミアム 関連団体以外への委託、関連団体以外との国内共同制作に ついて16%以上を目指す	17.5	20.3

単位：%

番組制作会社に制作委託した番組の著作権の扱い

著作権法上、テレビ番組の著作権は「企画の発意」と「制作責任」を持つ者に帰属
NHKではこの考え方に基づいて、番組の著作権の取り扱いを決めている

制作形態		著作権の帰属
番組制作委託	演出委託	N H K
	外部一部委託	N H K
	外部制作委託	番組制作会社とN H Kの共有 NHKでは制作業務を委託する場合も、NHKあるいは関連団体のプロデューサーが番組制作の過程に深く関わっている
国内共同制作		番組制作会社とN H Kの共有 (NHKと関連団体ないし番組制作会社双方で一定の費用を負担し、共同で制作する仕組み)
予約購入		番組制作会社 (番組制作会社が企画・制作する番組の初回放送権を、制作・完成に先立って購入する仕組み)